

平成28年度・内航タンカー船員実態調査報告書

平成29年3月29日

全国内航タンカー海運組合

船員対策委員会

はじめに

全国内航タンカー海運組合では、船員の高齢化に伴い、若年船員の確保、船員不足への対応、及び関係者の理解促進に役立てることを目的に、平成17年に第一回目の調査を開始以後、毎年、**10月1日現在**における内航タンカーに乗船中の船員及び休暇中船員の年齢構成、採用、退職状況等を調査しています。

平成28年度も、運送事業者(オペレーター)を経由して船主(オーナー)に調査票の提出ご協力をお願いいたしました。今年度は回収率を上げるべく、本部・支部事務局、対象事業者の協力を得て何度も提出をお願いした結果、**対象1,056隻の内、849隻**からのご報告をいただき、**回収率は前年度(72.3%)を大幅に上回る80.4%**となりました。

回収率の内訳をみると、船型では200G/T未満の小型船(回収率64.8%)、船種では特タン船(回収率65.2%)の回収率が低いため、次年度以降の課題ではありますが、小型船、特タン船の乗組員数が比較的少ない点、他の船型、船種では満遍なく回収されている点を考慮すると、概ね実態が反映される回収率と思われます。

今回の調査から推計される船員総数は、8,938名(前年度8,680名)で前年比約260名増となりました。これは、各船の**平均乗員数**が昨年度より**増加したこと(6.4→6.6名)**、**新卒採用が増加したこと(232名→295名)**が要因に上げられ、船員不足の現状から、各社が新卒者等若年船員の積極採用に動き、船内で育てていこうという良い傾向が顕れて来たものと推測されます。

また、今回の調査による船員の**平均年齢は48.1才**(前年度48.0才)で、ほぼ前年度並みとなりました。各社の若年船員等の採用増により、平均年齢が下がることも期待されましたが、**30才未満船員の割合**は全体の**16.8%**(前年度16.5%)と僅かに増加した一方、**60歳以上船員の割合は27.8%**(前年度26.5%)と、高齢船員の継続雇用の増加から、平均年齢は相殺される結果となりました。

長年にわたり内航タンカー業界を支えて来た団塊世代の船員は、既に多数退職時期を迎えており、中堅世代を他業種から採用することが難しい現状においては、若手船員を採用し育成していかなければならないことは明白であります。このため、当委員会といたしましても、各種対策を実行することにより、組合員各社の船員問題への対応をサポートしていきたいと思っております。

最後になりますが、当該調査にご協力をいただきました、運送事業者、船主の船員担当者の方々に、改めて厚くお礼を申し上げますとともに、今後ともご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国内航タンカー海運組合
船員対策委員会
委員長 内藤 吉起

1. 回答状況

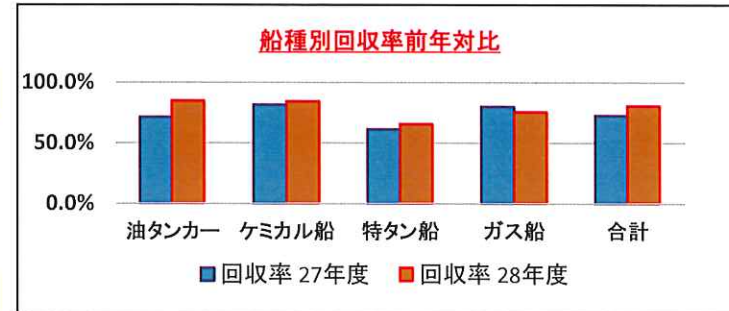
(1)対象隻数 : 1,056隻 (2)回答隻数 : 849隻 (回収率:80.4%)

※調査票の回収方法は、内航総連合会の「構造改善対策賦課金」の徴収対象船舶リストにより、運送事業者に船主分の調査票の配布回収を依頼し実施。

※回収率が80.4%の内訳は下段表のとおり。(特タン船、小型船の事業者からの提出割合が低い)

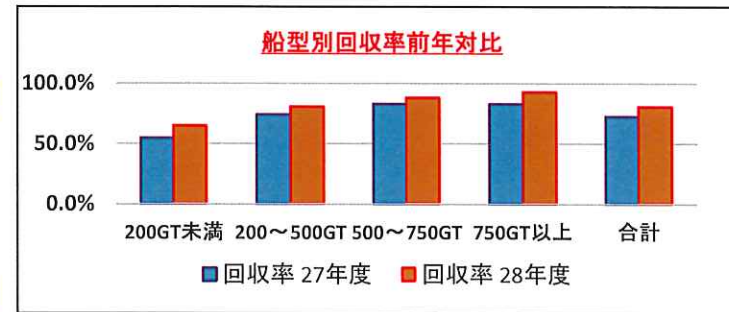
(3)船種別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度
油タンカー	610	591	434	499	71.1%	84.4%
ケミカル船	176	181	143	152	81.3%	84.0%
特タン船	157	155	96	101	61.1%	65.2%
ガス船	123	129	98	97	79.7%	75.2%
合計	1,066	1,056	771	849	72.3%	80.4%



(4)船型別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度
200GT未満	300	290	164	188	54.7%	64.8%
200～500GT	309	320	229	257	74.1%	80.3%
500～750GT	191	189	158	166	82.7%	87.8%
750GT以上	266	257	220	238	82.7%	92.6%
合計	1,066	1,056	771	849	72.3%	80.4%



(5)回答船員数

()は前年度船員数を示す。

合計(乗船中・下船中)7,581名(6,678名) ①乗船中の船員数5,584名(4,927名) ②下船中の船員数1,997名(1,751名)

(6)内航タンカー船員の総計(推計)

上記船員数に各船種、船型別の回収率から算出した推計船員数と予備員率を乗じた内航タンカー全船での船員数は以下の通り推計される。

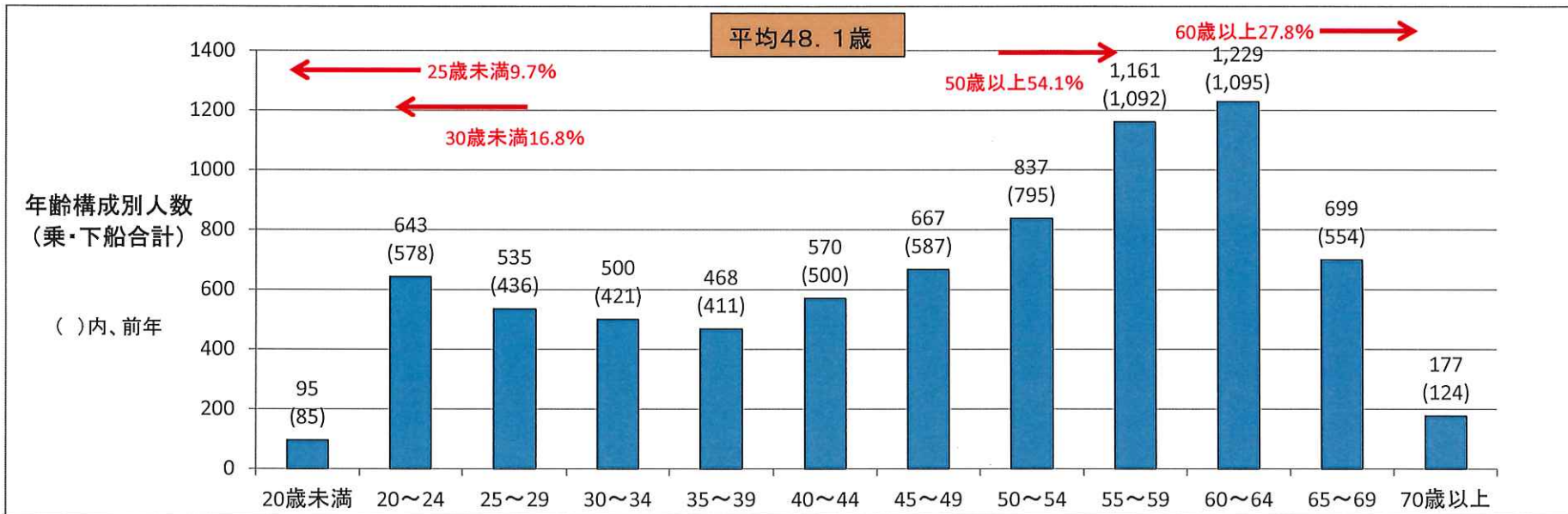
合計(乗船中・下船中)8,938名(8,680名) ①乗船中の船員数6,584名(6,404名) ②下船中の船員数2,354名(2,276名)

※ 前年度より推計船員数が258名多いのは、平均乗員数増加、新卒者増加等が反映されたものと推計される。

2. 年齢構成(乗・下船中の分類)

(1) 年齢区分別人数

		20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上	計
乗船中	人数	57	469	371	381	358	430	502	629	862	882	522	121	5,584
	年齢計	1066	10,335	9,944	12,203	13,290	18,077	23,650	32,863	49,212	54,603	34,727	8,767	268,737
	平均年齢	18.7	22.0	26.8	32.0	37.1	42.0	47.1	52.2	57.1	61.9	66.5	72.5	48.1
	比率	1.0%	8.4%	6.6%	6.8%	6.4%	7.7%	9.0%	11.3%	15.4%	15.8%	9.3%	2.2%	100%
下船中	人数	38	174	164	119	110	140	165	208	299	347	177	56	1,997
	年齢計	710	3,833	4,427	3,792	4,041	5,875	7,774	10,844	17,044	21,462	11,791	4,054	95,647
	平均年齢	18.7	22.0	27.0	31.9	36.7	42.0	47.1	52.1	57.0	61.9	66.6	72.4	47.9
	比率	1.9%	8.7%	8.2%	6.0%	5.5%	7.0%	8.3%	10.4%	15.0%	17.4%	8.9%	2.8%	100%
合計	人数	95	643	535	500	468	570	667	837	1,161	1,229	699	177	7,581
	年齢計	1,776	14,168	14,371	15,995	17,331	23,952	31,424	43,707	66,256	76,065	46,518	12,821	364,384
	平均年齢	18.7	22.0	26.9	32.0	37.0	42.0	47.1	52.2	57.1	61.9	66.5	72.4	48.1
	比率	1.3%	8.5%	7.1%	6.6%	6.2%	7.5%	8.8%	11.0%	15.3%	16.2%	9.2%	2.3%	100%
女性船員(上記の内数)	0	14	3	3	0	3	4	0	0	0	1	0	1	29
平均年齢32.6歳、甲板職員13名(船長1名)、甲板部員8名、機関職員8名(機関長3名)														
派遣船員(上記の内数)	2	26	18	15	10	12	15	15	27	44	66	71	23	329
平均年齢56.8歳、甲板職員119名、甲板部員115名、機関職員88名、機関部員8名														



① 全船種平均年齢(乗・下船合計)は**48.1歳**(前年度48.0歳)でほぼ前年並みとなった。

② 要因として、30歳未満の若年船員は各社の積極的な新卒採用により増加しているが、60歳以上船員も各社の雇用継続による増加から、平均年齢は相殺された。

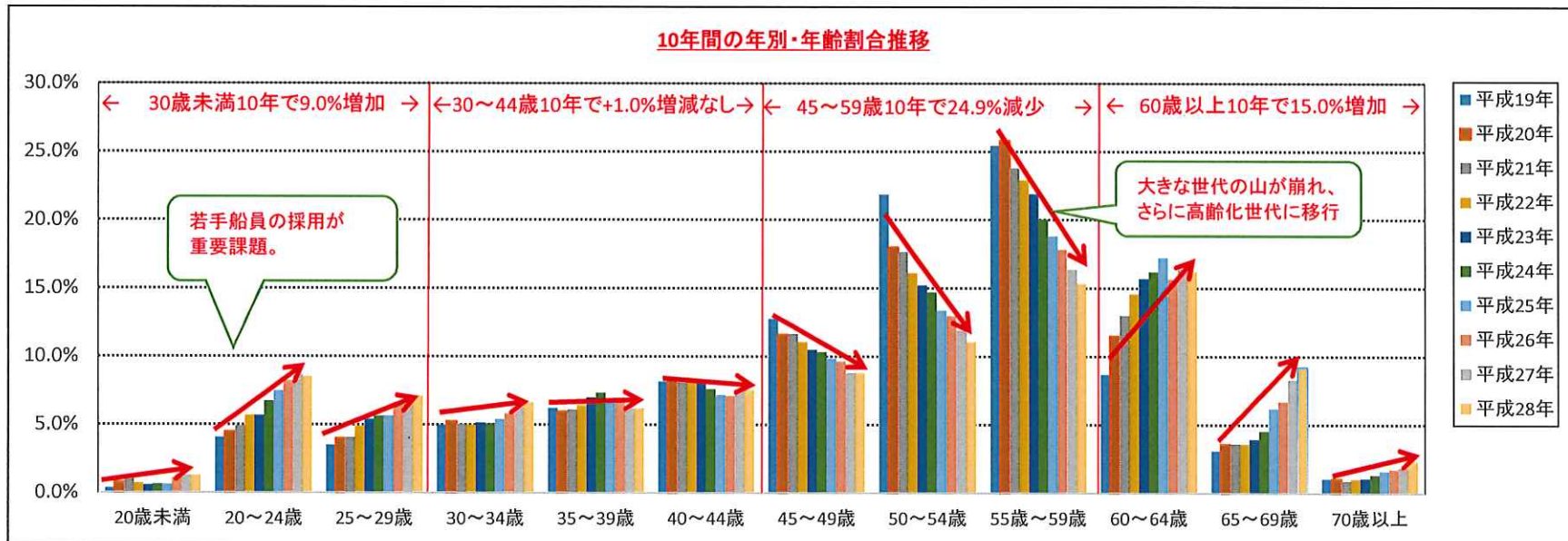
3. 年齢別船員数及び割合の推移(10年間)

(1) 年齢別船員数

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	報告船員数
平成19年	22	265	229	327	408	535	838	1,438	1,675	570	203	69	6,579
平成20年	57	345	307	404	461	646	899	1,397	2,004	890	275	81	7,766
平成21年	82	375	308	384	464	624	886	1,342	1,808	987	274	68	7,602
平成22年	48	390	336	344	442	566	762	1,111	1,582	1,005	247	71	6,904
平成23年	38	385	367	349	475	551	715	1,037	1,494	1,070	268	72	6,821
平成24年	42	453	379	342	493	512	696	992	1,354	1,092	306	89	6,750
平成25年	39	495	372	356	453	475	651	885	1,246	1,142	410	105	6,629
平成26年	75	575	462	405	478	495	674	906	1,247	1,095	467	120	6,999
平成27年	85	578	436	421	411	500	587	795	1,092	1,095	554	124	6,678
平成28年	95	643	535	500	468	570	667	837	1,161	1,229	699	177	7,581
合計	488	3,861	3,196	3,332	4,085	4,904	6,708	9,903	13,502	8,946	3,004	799	62,728

(2) 年齢別船員割合

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計
平成19年	0.3%	4.0%	3.5%	5.0%	6.2%	8.1%	12.7%	21.9%	25.5%	8.7%	3.1%	1.0%	100.0%
平成20年	0.7%	4.4%	4.0%	5.2%	5.9%	8.3%	11.6%	18.0%	25.8%	11.5%	3.5%	1.0%	100.0%
平成21年	1.1%	4.9%	4.1%	5.1%	6.1%	8.2%	11.7%	17.7%	23.8%	13.0%	3.6%	0.9%	100.0%
平成22年	0.7%	5.6%	4.9%	5.0%	6.4%	8.2%	11.0%	16.1%	22.9%	14.6%	3.6%	1.0%	100.0%
平成23年	0.6%	5.6%	5.4%	5.1%	7.0%	8.1%	10.5%	15.2%	21.9%	15.7%	3.9%	1.1%	100.0%
平成24年	0.6%	6.7%	5.6%	5.1%	7.3%	7.6%	10.3%	14.7%	20.1%	16.2%	4.5%	1.3%	100.0%
平成25年	0.6%	7.5%	5.6%	5.4%	6.8%	7.2%	9.8%	13.4%	18.8%	17.2%	6.2%	1.6%	100.0%
平成26年	1.1%	8.2%	6.6%	5.8%	6.8%	7.1%	9.6%	12.9%	17.8%	15.6%	6.7%	1.7%	100.0%
平成27年	1.3%	8.7%	6.5%	6.3%	6.2%	7.5%	8.8%	11.9%	16.4%	16.4%	8.3%	1.9%	100.0%
平成28年	1.3%	8.5%	7.1%	6.6%	6.2%	7.5%	8.8%	11.0%	15.3%	16.2%	9.2%	2.3%	100.0%



4. 職種別平均年齢(乗・下船船員の合計)

(註)本表中、司厨員は甲板部員に参入

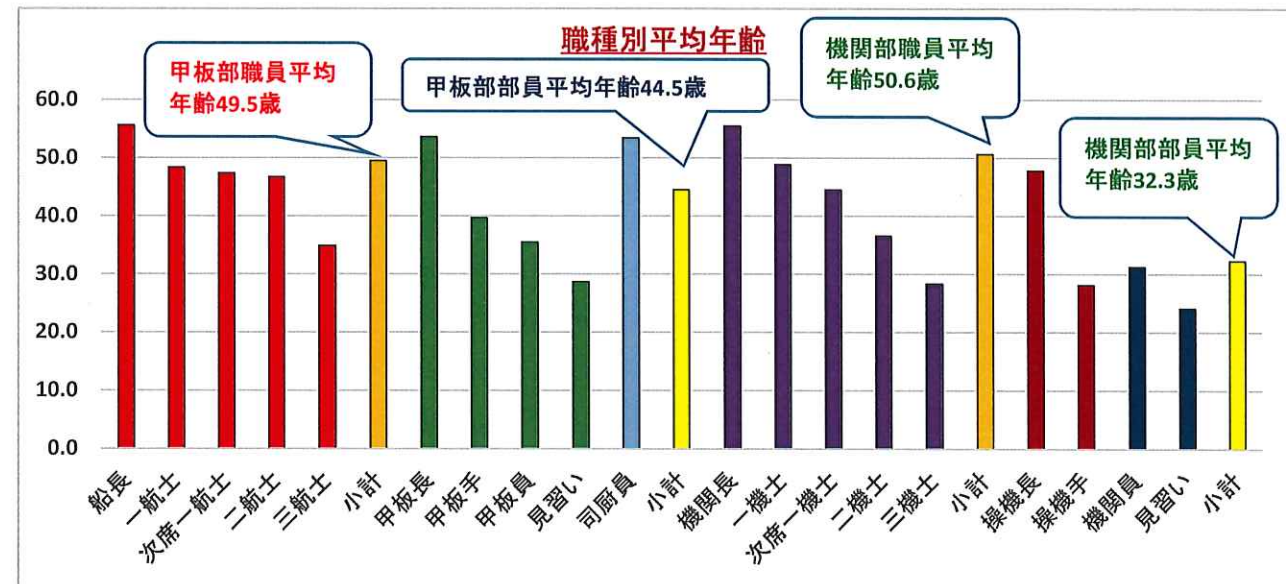
(1) 職種別

職種	船員数	年齢計	平均年齢
船長	1,155	64,223	55.6
一航士	1,020	49,319	48.4
次席一航士	235	11,121	47.3
二航士	744	34,740	46.7
三航士	224	7,810	34.9
小計	3,378	167,213	49.5
甲板長	317	16,990	53.6
甲板手	503	19,945	39.7
甲板員	461	16,348	35.5
見習い	25	716	28.6
司厨員	464	24,786	53.4
小計	1,770	78,785	44.5
機関長	1,092	60,613	55.5
一機士	765	37,349	48.8
次席一機士	68	3,026	44.5
二機士	229	8,375	36.6
三機士	12	340	28.3
小計	2,166	109,703	50.6
操機長	30	1,434	47.8
操機手	35	984	28.1
機関員	187	5,845	31.3
見習い	15	361	24.1
小計	267	8,624	32.3
合計	7,581	364,325	48.1

(2) 航海/機関別

28年度		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,378	167,213	49.5
	部員	1,770	78,785	44.5
	小計	5,148	245,998	47.8
機関部	職員	2,166	109,703	50.6
	部員	267	8,624	32.3
	小計	2,433	118,327	48.6
合計		7,581	364,325	48.1

27年度		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,035	149,600	49.3
	部員	1,542	67,717	43.9
	小計	4,577	217,317	47.5
機関部	職員	1,895	96,287	50.8
	部員	206	6,923	33.6
	小計	2,101	103,210	49.1
合計		6,678	320,527	48.0



(職種別平均年齢の前年対比)

職種	27年度	28年度
甲板部職員	49.3歳	49.5歳
部員	43.9歳	44.5歳
機関部職員	50.8歳	50.6歳
部員	33.6歳	32.3歳

・平成28年度の職種毎の平均年齢は表のとおりである。

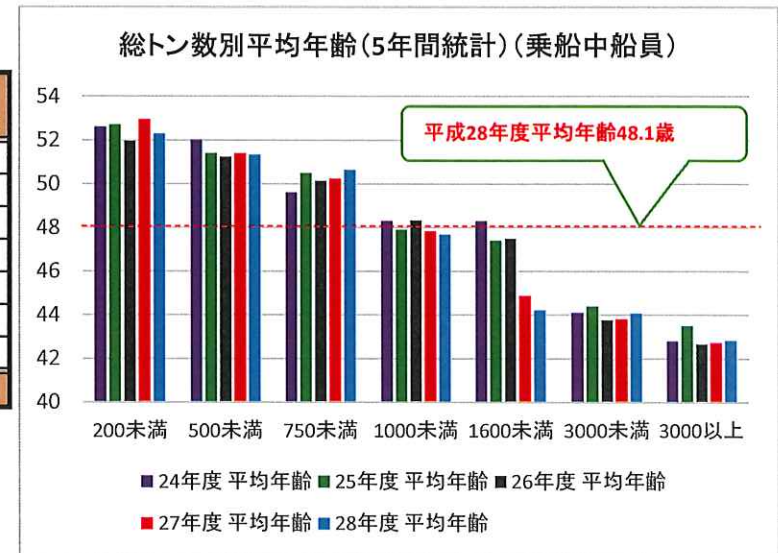
・前年度と比較すると、甲板部職員は0.2歳、甲板部部員は0.6歳高齢化し、機関部職員は0.2歳、機関部部員は1.3歳若くなっている。

5. 総トン数・船種別平均年齢(乗船中船員)

(1) 総トン数別平均年齢

	28年度				24年度 平均年齢	25年度 平均年齢	26年度 平均年齢	27年度 平均年齢	28年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
200未満	188	622	3.3	32,527	52.6	52.7	52.0	52.9	52.3
500未満	257	1,338	5.2	68,673	52.0	51.4	51.2	51.4	51.3
750未満	166	1,105	6.7	55,956	49.6	50.5	50.1	50.2	50.6
1000未満	66	602	9.1	28,703	48.3	47.9	48.3	47.8	47.7
1600未満	17	174	10.2	7,693	48.3	47.4	47.5	44.9	44.2
3000未満	40	429	10.7	18,906	44.1	44.4	43.8	43.8	44.1
3000以上	115	1,314	11.4	56,279	42.8	43.5	42.7	42.7	42.8
合計	849	5,584	6.6	268,737	48.5	48.6	47.9	48.0	48.1

・本年度は、平均年齢はほぼ前年並みの48.1歳であったが、船型別にみると、200GT未満船の52.3歳に対して3,000GT以上船は42.8歳であり、小型船／大型船では平均年齢に約10歳の開きがある。

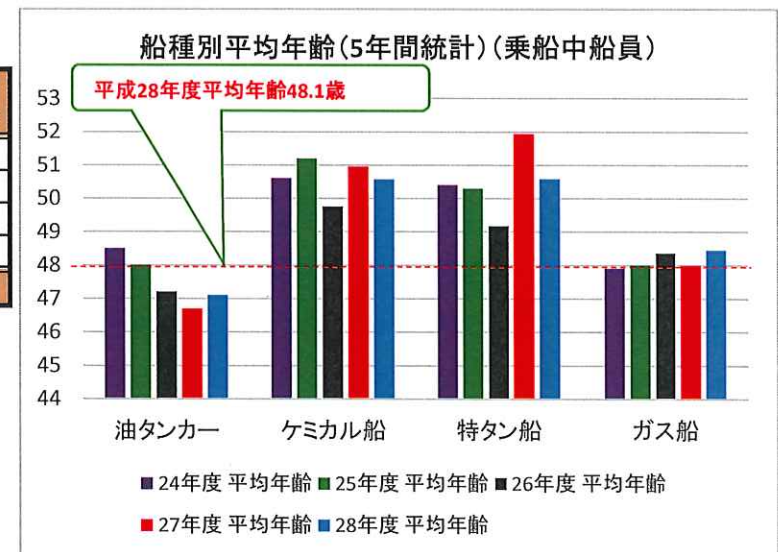


(2) 船種別平均年齢(乗船中)

	28年度				24年度 平均年齢	25年度 平均年齢	26年度 平均年齢	27年度 平均年齢	28年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
油タンカー	499	3,478	7.0	163,830	48.5	48.0	47.2	46.7	47.1
ケミカル船	152	869	5.7	43,948	50.6	51.2	49.8	51.0	50.6
特タン船	101	480	4.8	24,282	50.4	50.3	49.2	51.9	50.6
ガス船	97	757	7.8	36,677	47.9	48.0	48.4	48.0	48.5
合計	849	5,584	6.6	268,737	48.9	48.5	48.6	48.0	48.1

・平成28年度で平均年齢を下回るのは油タンカー(47.1歳)のみであった。

・特に、ケミカル船と特タン船の平均年齢は、50.6歳と高齢化している。



6. 入社歴及び前職

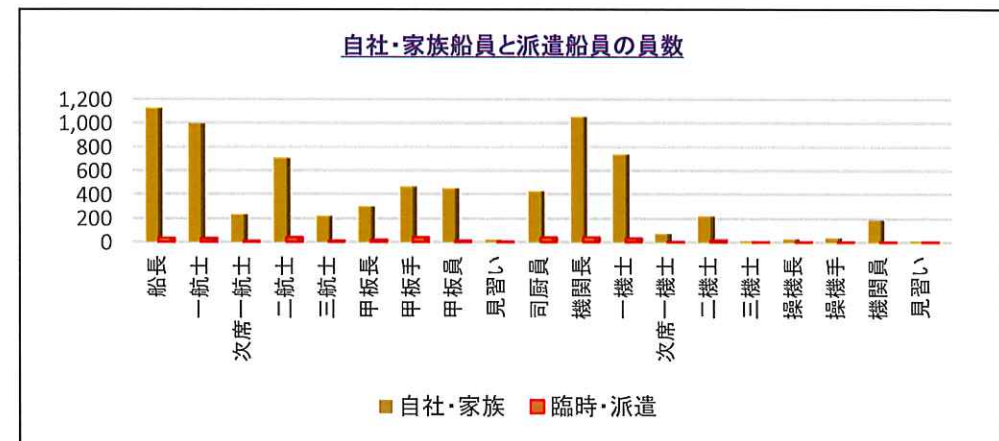
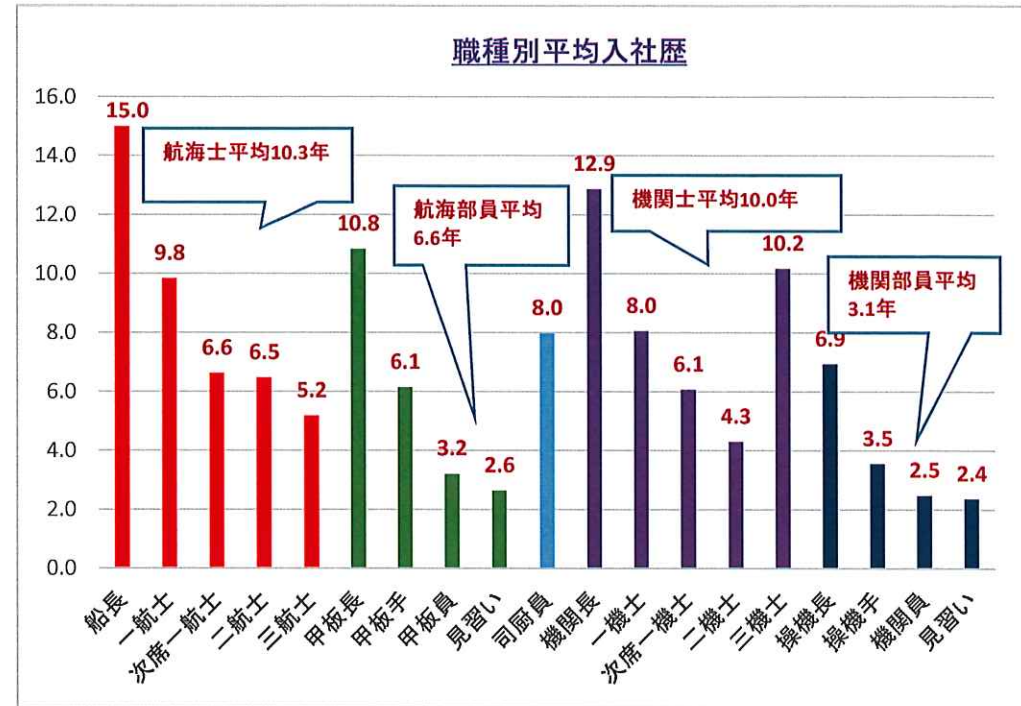
(1) 職種別船員数及び入社歴と雇用内訳(乗・下船合計)

	船員数	内訳(*1)		入社歴計	平均入社歴(*2)
		自社・家族	臨時・派遣		
船長	1,155	1,121	34	16,807	15.0
一航士	1,020	989	30	9,715	9.8
次席一航士	235	228	7	1,509	6.6
二航士	744	705	39	4,555	6.5
三航士	224	215	9	1,113	5.2
小計	3,378	3,258	119	33,699	10.3
甲板長	317	299	18	3,237	10.8
甲板手	503	464	39	2,848	6.1
甲板員	461	448	13	1,436	3.2
見習い	25	19	6	50	2.6
司厨員	464	424	39	3,379	8.0
小計	1,770	1,654	115	10,950	6.6
機関長	1,092	1,050	41	13,502	12.9
一機士	765	733	32	5,897	8.0
次席一機士	68	67	1	406	6.1
二機士	229	215	14	923	4.3
三機士	12	12	0	122	10.2
小計	2,166	2,077	88	20,850	10.0
操機長	30	28	2	194	6.9
操機手	35	33	2	117	3.5
機関員	187	184	3	454	2.5
見習い	15	14	1	33	2.4
小計	267	259	8	798	3.1
合計	7,581	7,248	330	66,297	9.1

(*1): 内訳数は、一部未回答があるため、船員数計とは一致しない。

(*2): 平均入社歴は自社・家族船員のみを対象とした。

・自社・家族船員と臨時・派遣船員の比率は、自社・家族95.6%(前年度95.1%)、臨時・派遣4.4%(前年度4.9%)で、僅かだが、派遣船員等の比率は減少した。



(2)職種別船員の前職(全船種合計)

職種	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン	貨物船	外航船員	漁船	その他	未記入	計
船長	100	57	431	182	55	34	55	24	123	69	25	1,155
一航士	117	31	346	161	58	29	49	3	94	112	20	1,020
次席一航士	16	1	99	37	12	6	13	3	15	30	3	235
二航士	116	5	233	101	34	10	60	6	73	90	16	744
三航士	95	2	60	4	6	2	10	2	11	28	4	224
小計	444	96	1,169	485	165	81	187	38	316	329	68	3,378
割合	13.1%	2.8%	34.6%	14.4%	4.9%	2.4%	5.5%	1.1%	9.4%	9.7%	2.0%	100%
甲板長	20	13	102	35	10	13	22	2	44	47	9	317
甲板手	132	18	164	7	12	2	32	2	47	78	9	503
甲板員	101	25	76	7	5	2	27	8	41	162	7	461
見習い	5	4	0	0	0	0	1	0	1	14	0	25
司厨員	19	7	149	14	23	3	22	13	40	163	11	464
小計	277	67	491	63	50	20	104	25	173	464	36	1,770
割合	15.6%	3.8%	27.7%	3.6%	2.8%	1.1%	5.9%	1.4%	9.8%	26.2%	2.0%	100.0%
機関長	57	24	407	163	50	31	67	22	131	107	33	1,092
一機士	86	10	282	98	37	10	53	5	87	80	17	765
次席一機士	6	0	21	9	6	0	7	0	9	9	1	68
二機士	84	2	53	14	6	0	14	1	16	31	8	229
三機士	7	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	12
小計	240	36	763	285	99	41	141	28	243	231	59	2,166
割合	11.1%	1.7%	35.2%	13.2%	4.6%	1.9%	6.5%	1.3%	11.2%	10.7%	25.5%	100%
操機長	4	1	8	4	0	2	3	0	2	6	0	30
操機手	19	1	4	0	1	0	1	0	2	5	2	35
機関員	54	14	15	10	1	2	9	0	7	66	9	187
見習い	8	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	15
小計	85	16	27	14	2	4	13	0	11	84	11	267
総計	1,046	215	2,450	847	316	146	445	91	743	1,108	174	7,581
割合	13.8%	2.8%	32.3%	11.2%	4.2%	1.9%	5.9%	1.2%	9.8%	14.6%	2.3%	100%

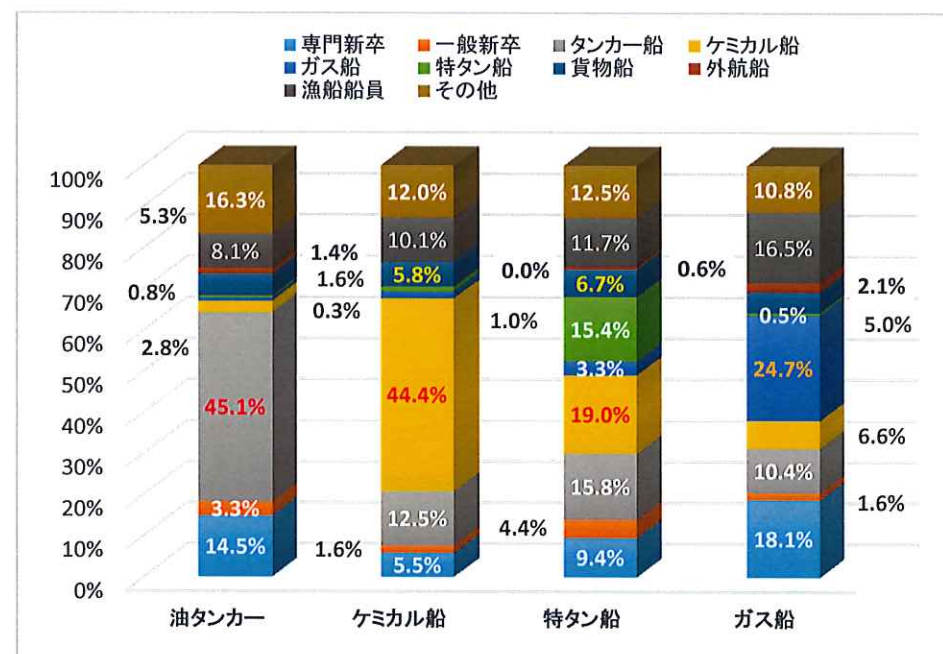
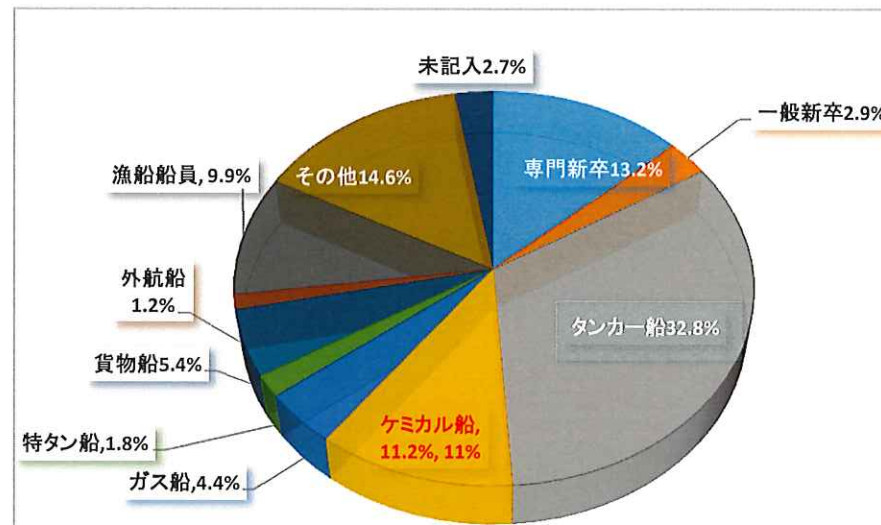
※前職は入社直前の職種を記載している。

※ 前職の上位は、**タンカー経験者32.3%**、その他14.6%、**専門学校新卒者が13.8%**、**ケミカル船が11.2%**、**漁船が9.8%**、**貨物船が5.9%**となっている。

(3) 船種別船員の前職(乗船中)

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他	未記入	計
油タンカー	506	116	1,568	99	28	12	183	48	283	567	68	3,478
ケミカル船	48	14	109	386	14	9	50	0	88	104	47	869
特タン船	45	21	76	91	16	74	32	3	56	60	6	480
ガス船	137	12	79	50	187	4	38	16	125	82	27	757
合計	736	163	1,832	626	245	99	303	67	552	813	148	5,584
比率	13.2%	2.9%	32.8%	11.2%	4.4%	1.8%	5.4%	1.2%	9.9%	14.6%	2.7%	100%

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他
油タンカー	14.5%	3.3%	45.1%	2.8%	0.8%	0.3%	5.3%	1.4%	8.1%	16.3%
ケミカル船	5.5%	1.6%	12.5%	44.4%	1.6%	1.0%	5.8%	0.0%	10.1%	12.0%
特タン船	9.4%	4.4%	15.8%	19.0%	3.3%	15.4%	6.7%	0.6%	11.7%	12.5%
ガス船	18.1%	1.6%	10.4%	6.6%	24.7%	0.5%	5.0%	2.1%	16.5%	10.8%



※油タンカー、ケミカル船は、同じ船種に戻る割合が高く、ガス船もやや低いと同じ傾向。

※特タン船は、ケミカル船の前職者が、特タン船の前職者を上回っている。

7. 採用・退職関係

(1) 過去10年間の採用及び退職船員統計表

	新卒	中途	採用合計	退職員数	採用員数－ 退職員数
平成19年	126	1,306	1,432	1,251	181
平成20年	165	1,428	1,593	1,350	243
平成21年	128	1,111	1,239	1,207	32
平成22年	143	706	849	1,044	-195
平成23年	106	839	945	1,017	-72
平成24年	195	1,003	1,198	1,069	129
平成25年	198	997	1,195	1,063	132
平成26年	211	1,167	1,378	1,164	214
平成27年	232	986	1,218	1,082	136
平成28年	295	1,217	1,512	1,309	203
合計	1,799	10,760	12,559	11,556	1,003

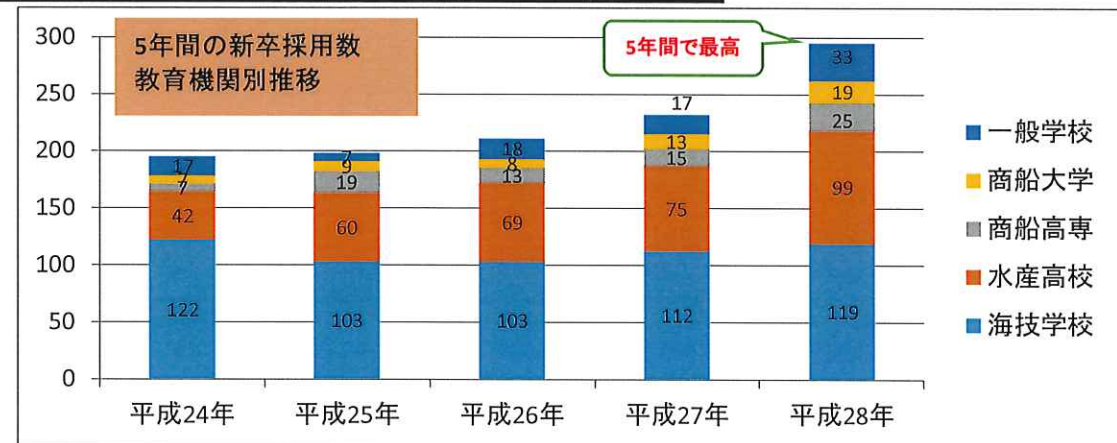
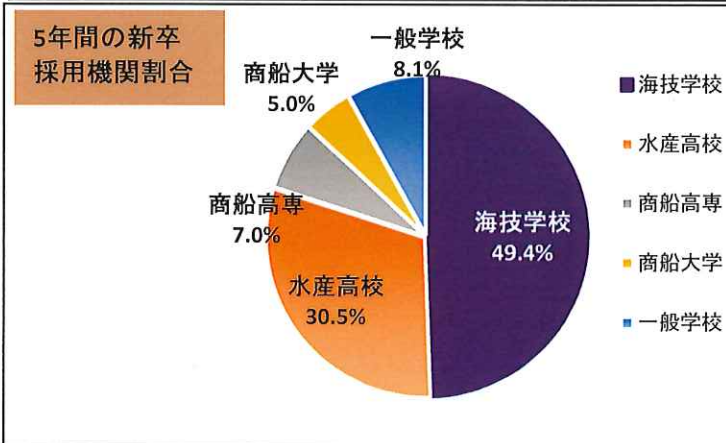


※採用人数12,559名の内、中途採用者は10,760名と全体の85.7%を占めている。

(2) 新卒者採用学校別割合及び中途採用者内訳

	新卒						中途			合計
	海技学校	水産高校	商船高専	商船大学	一般学校	小計	元船員	船員以外	小計	
平成24年	122	42	7	7	17	195	904	99	1,003	1,198
平成25年	103	60	19	9	7	198	897	100	997	1,195
平成26年	103	69	13	8	18	211	1,008	159	1,167	1,378
平成27年	112	75	15	13	17	232	830	156	986	1,218
平成28年	119	99	25	19	33	295	985	232	1,217	1,512
合計	559	345	79	56	92	1,131	4,624	746	5,370	6,501
	49.4%	30.5%	7.0%	5.0%	8.1%	100.0%	86.1%	13.9%	100.0%	

※教育機関別の新卒採用数は、5年間合計では、海技学校・短大が49.4%とほぼ半数だが、ここ数年は、水産高校その他の教育機関の採用が増加傾向。



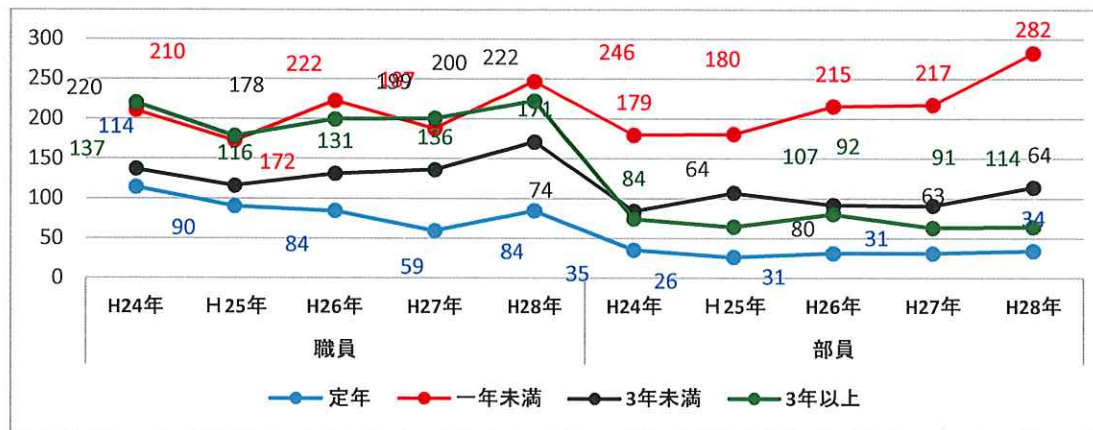
(3)平成28年度退職状況

	職 員				部 員				職・部員合計					
	甲板	機関	その他	計	甲板	機関	その他	計	甲板	機関	その他	計	比率	
定年	44	37	3	84	23	2	9	34	67	39	12	118	9.0%	
死亡・障害	7	8	0	15	5	0	3	8	12	8	3	23	1.8%	
自己都合	一年未満	144	97	5	246	178	55	49	282	322	152	54	528	40.3%
	3年未満	97	70	4	171	74	25	15	114	171	95	19	285	21.8%
	3年以上	123	98	1	222	47	7	10	64	170	105	11	286	21.8%
会社都合・他	一年未満	10	5	1	16	6	2	2	10	16	7	3	26	2.0%
	3年未満	7	4	0	11	4	0	3	7	11	4	3	18	1.4%
	3年以上	13	5	1	19	4	0	2	6	17	5	3	25	1.9%
計		445	324	15	784	341	91	93	525	786	415	108	1,309	100.0%

(4)平成24～28年在籍期間対比(5年間)

(会社都合は除く)

	職 員					部 員					総計	%
	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年		
定年	114	90	84	59	84	35	26	31	31	34	588	11.2%
一年未満	210	172	222	187	246	179	180	215	217	282	2,110	40.3%
3年未満	137	116	131	136	171	84	107	92	91	114	1,179	22.5%
3年以上	220	178	199	200	222	74	64	80	63	64	1,364	26.0%
計	681	556	636	582	723	372	377	418	402	494	5,241	100.0%



平成28年度・退職者比率

※一年未満退職者 << 自己都合40.3%,会社都合2.0% >>

※一年以上3年未満退職者 << 自己都合21.8%,会社都合1.4% >>

※3年以上退職者 << 自己都合21.8%,会社都合1.9% >>

(5年間統計)

※自己都合により、一年未満での退職40.3%、一年以上3年未満22.5%、3年以上26.0%。3年未満で退職するものが62.5%。

8. 海技免状保有状況

①甲・機別保有者数

	職員		部員		職員・部員計		総計	比率
	甲板	機関	甲板	機関	甲板	機関		
一級海技士	25	25	1	0	26	25	51	0.8%
二級海技士	67	49	1	0	68	49	117	1.9%
三級海技士	975	558	117	31	1,092	589	1,681	26.9%
四級海技士	1,516	970	273	44	1,789	1,014	2,803	44.8%
五級海技士	545	374	81	8	626	382	1,008	16.1%
六級海技士	200	102	271	25	471	127	598	9.6%
計	3,328	2,078	744	108	4,072	2,186	6,258	100.0%

(未記入87)

②年齢別保有数

イ)航海士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	0	2	8	16	26
二級海技士	0	4	9	11	23	23	70
三級海技士	0	213	169	213	270	239	1,104
四級海技士	9	321	252	333	462	452	1,829
五級海技士	0	24	47	105	198	265	639
六級海技士	4	51	61	83	140	143	482
計	13	613	538	747	1,101	1,138	4,150

ロ)機関士

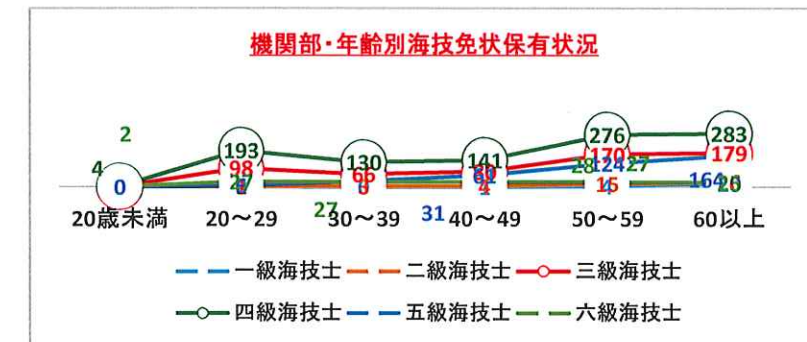
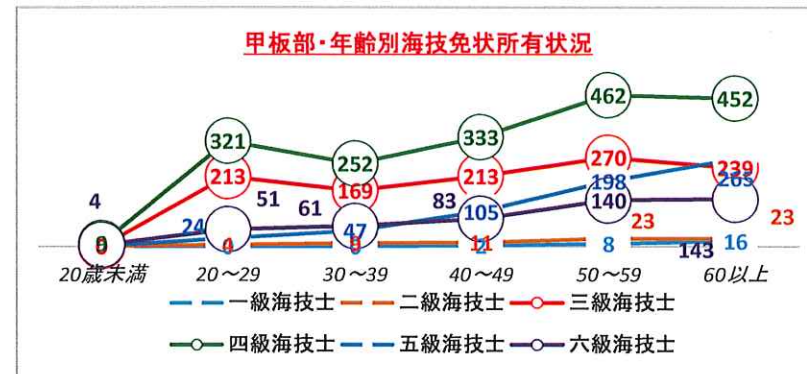
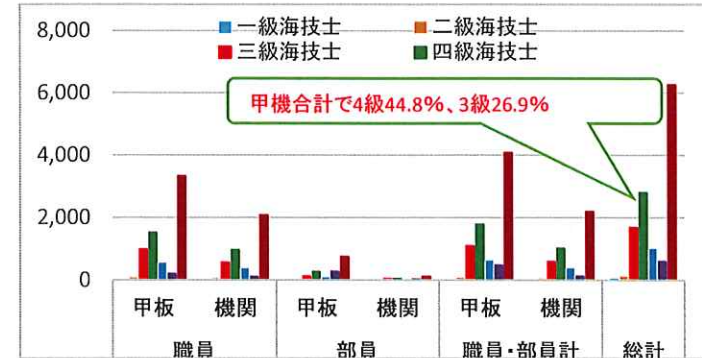
	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	0	1	4	20	25
二級海技士	0	1	3	4	15	26	49
三級海技士	0	98	66	80	170	179	593
四級海技士	4	193	130	141	276	283	1,027
五級海技士	0	6	31	61	124	164	386
六級海技士	2	27	27	28	27	25	136
計	6	325	257	315	616	697	2,216

※甲板部・機関部とも4級、3級海技士が主流

※6級海技士の部員の所有状況は甲板271名に対し機関部25名と少ない。

9. 船舶料理士免許保有状況

	所有	未所有	司厨員計	所有割合
乗船中	220	108	328	67.1%
下船中	98	38	136	72.1%
計	318	146	464	68.5%



10. 船員不足の考察

① 船型別隻数/乗船中船員数(有効回答数)

年度	200GT未満			500GT未満			750GT未満			1000GT未満			1600GT未満			3000GT未満			3000GT以上			合計		
	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数
24	203	610	3.0	248	1,161	4.7	165	1,018	6.2	57	466	8.2	29	275	9.5	43	442	10.3	94	988	10.5	839	4,960	5.9
25	176	583	3.3	230	1,208	5.3	155	1,031	6.7	58	521	9.0	24	240	10.0	42	452	10.8	89	1,014	11.4	774	5,049	6.5
26	160	552	3.5	211	1,083	5.1	161	1,075	6.7	61	544	8.9	23	226	9.8	45	477	10.6	110	1,237	11.2	771	5,194	6.7
27	164	520	3.2	229	1,132	4.9	158	1,012	6.4	54	475	8.8	22	212	9.6	44	461	10.5	100	1,115	11.2	771	4,927	6.4
28	188	622	3.3	257	1,338	5.2	166	1,105	6.7	66	602	9.1	17	174	10.2	40	429	10.7	115	1,315	11.4	849	5,585	6.6
計	891	2,887	3.2	1,175	5,922	5.0	805	5,241	6.5	296	2,608	8.8	115	1,127	9.8	214	2,261	10.6	508	5,669	11.2	4,004	25,715	6.4

※ ここ5年間で、平成24年度が平均乗員数が最小で、平成28年度は各船型で平均乗員数が前年度より増加、教育乗船の増加が一因と推測。(平成24年度は東日本大震災の翌年で大型船増強や重複運航のあった年)

② 予備員率

年度	乗船中	下船中	計	予備員率
24	4,960	1,792	6,752	1.36
25	5,049	1,580	6,629	1.31
26	5,194	1,805	6,999	1.35
27	4,927	1,751	6,678	1.36
28	5,585	1,997	7,582	1.36
計	25,715	8,925	34,640	1.35

※予備員率は5年間平均で1.35で、25年度の1.31を除けば、毎年同じ傾向

③ 臨時・派遣船員数と比率

年度	合計 船員数	自社・ 家族 船員数	臨時・ 派遣 船員数	臨時・ 派遣 比率
24	6,739	6,357	382	5.7%
25	6,629	6,200	429	6.5%
26	6,999	6,632	367	5.2%
27	6,678	6,337	325	4.9%
28	7,578	7,248	330	4.4%
計	34,623	32,774	1,833	5.3%

※臨時・派遣船員割合は5年間平均で5.3%、28年度は4.4%で、平均及び前年を下回る

④ 臨時・派遣船員の職種別内訳

年度	職員 (甲)	部員 (甲)	職員 (機)	部員 (機)	計	職員 (甲機) 割合
24	164	106	107	5	382	70.9%
25	159	142	121	7	429	65.3%
26	143	110	104	10	367	67.3%
27	118	106	93	8	325	64.9%
28	119	115	88	8	330	62.7%
計	703	579	513	38	1,833	66.3%
割合	38.4%	31.6%	28.0%	2.1%	100.0%	

※臨時・派遣船員は6割以上が職員として就労、機関に限れば9割以上。

(考察)

1. 安全最小定員数と実乗船員数

船員法等を遵守する最小船員数は、航海時間16時間超500トン未満の法定定員は、航海士2名+1名(航海当直要員)、機関士2名の計5名となる。さらに着離棧、荷役作業を考慮すると最低6名は必要となる。500トン未満船の5年間平均での実乗船員数は5.0名となっており、平成28年度は5.2名と改善傾向が見られたものの、ギリギリの員数で運航している船舶が多数あるものと推測される。

2. 予備員数

平成28年度の予備員率は上表のとおり1.36(5年間平均1.35)である。年間休日110日(休暇105+乗下船5)を付与するための理想の予備員率を1.43として逆算すると約400名が不足していることとなる。また、この値を推計船員数8,939名(乗船中6,584名、下船中2,354名)で置き換えると、約480名の不足となる。

3. 臨時・派遣船員

平成28年度は、330名の船員が派遣され、特に、甲・機職員への派遣が6割以上を占めている。言い換えれば、330人の船員が自社で賄えない不足した船員と捉えることも出来る。今後は、退職船員の増加により派遣船員の供給不足も考えられ、停船を余儀なくされる船舶が増加することが危惧される。(上表③の通り派遣船員数、比率は減少傾向)

4. 船員不足への対応

船員不足の実態は、乗船定員、予備員率、船員派遣等、各々の調査結果に現れている。この結果に危機感をもって、若年船員確保や高齢船員活用等への対応を図る必要がある。

11. 組合員各社に向けての提言

- (1) 小型船の船員確保対策は、船主、オペレーターが協力して実施する必要がある。
- (2) ベテラン船員の多数退職によりレベル低下が懸念され、技術の伝承を早急に行う必要がある。
- (3) 新卒採用数の増加と併行して、若年船員の退職防止と業界内へのつなぎとめ対策を図る必要がある。
- (4) 女性船員の確保・活用をさらに進める必要がある。
- (5) 船員年齢層の大きな山が60歳以上へと移行していく中、安全確保のため労務分担見直しと労務軽減をさらに進める必要がある。

以上